

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

1 目指す姿と数値目標

Mission（存在意義）

革新的な医薬品とサービスの提供を通じて新しい価値を創造し、世界の医療と人々の健康に貢献する

R&Dアウトプット
2倍

2 中長期の経営戦略

1. 創薬改革

低分子・抗体の革新と中分子など新モダリティに挑戦。2024年1月、米国拠点のコーポレートベンチャーキャピタル中外ベンチャー・ファンド・エルエルシー活動開始。外部技術・標的との融合で創薬機会拡大

3. 製薬改革

中分子など新モダリティの製薬技術確立。創薬～製薬の機能間連携強化。デジタル・ロボティクス活用による生産効率化。スマートファクトリー実現とデュアルサイト戦略

2. 開発改革

臨床開発力とヒト予測力の融合によるGo/No-Go判断。複数適応症での同時開発。デジタル技術やリアルワールドデータ活用で臨床試験のあり方を革新

4. ValueDelivery改革

患者中心の最適治療選択への迅速なエビデンス創出。リアル・リモート・デジタルを組み合わせたマルチチャネル戦略展開。成熟品譲渡などスリム化継続検討

3 対処すべき課題

① イノベーション追求

- ・アンメットメディカルニーズに応える新薬創出。6品目・9プロジェクトでFDA画期的治療薬指定実績
- ・ビッグデータ・AI等デジタル技術の取り入れで創薬力強化
- ・限られた資源をイノベーションに集中投資できる体制への変革

② 医療費抑制への対応

- ・VBHCの流れ加速。真に価値あるソリューションだけが選ばれる環境への対応
- ・グローバル規模での財政圧力増加への経営環境対応

③ 事業運営のリスク対応

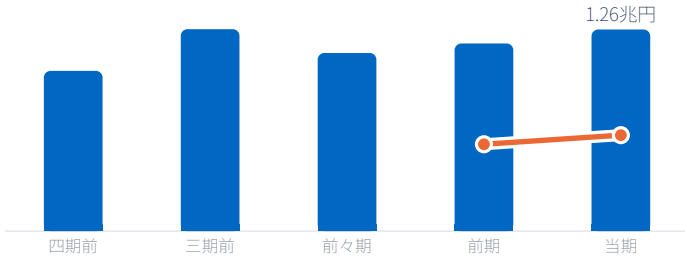
- ・地政学リスク増加、エネルギー価格・インフレ等による不確実性対応
- ・地球環境保全・情報セキュリティ・AI技術革新への対応

面接で使えるポイント

- ・ロシュとの戦略的アライアンスを基盤に、独自サイエンス力で革新的創薬に集中投資するビジネスモデル
- ・患者中心の高度で持続可能な医療実現を目指し、2030年トップイノベーター像で世界のロールモデル目指す
- ・FDA画期的治療薬6品目・9プロジェクト指定など、世界的創薬力評価を確保しながら持続的イノベーション追求

証券コード 4519

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
1.26兆円営業利益率
47.6%財務健康度
95点 / 100点

将来性 晴れ時々曇り / 就活偏差値 73.9（当サイト算出の参考指標）

平均年収
1,351万円
医薬品内 4位/80社平均年齢
42.0歳
医薬品内 62位/80社平均勤続
15.0年
医薬品内 19位/80社女性管理職
21.2%
医薬品内 10位/41社男性育休
93.4%
医薬品内 13位/35社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: 2026年07月08日 | 中外製薬SaMD開発チームが語る“共

